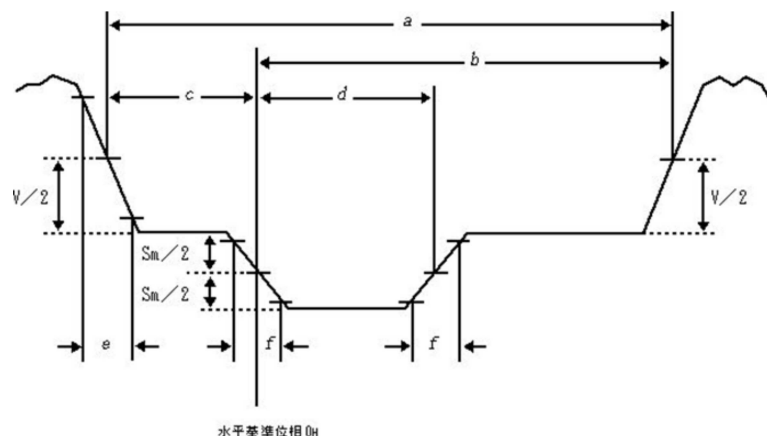


1 走査線数が525本であつて、走査方式が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



(2) 水平同期信号の許容範囲

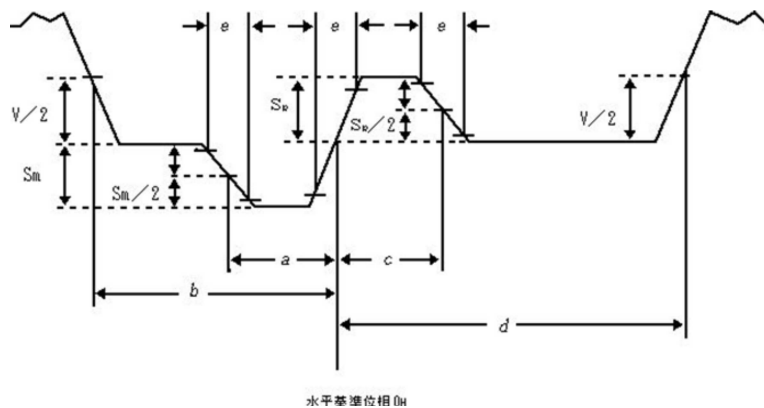
項目		許容範囲	
記号	走査線数	525本	
	走査方式	1本おき	順次
a	水平ブランキング期間 (μs)	10.70 + 0.30	5.35 + 0.15
		-0.20	-0.10

b	映像信号開始点 (μs)	9.20 ± 0.20 -0.10	4.60 ± 0.10 -0.05
c	映像信号終了点 (μs)	1.50 ± 0.10	0.75 ± 0.05
d	負極性パルス幅 (μs)	4.70 ± 0.10	2.35 ± 0.05
e	水平ブランキング立ち下がり時間 (10~90%) (μs)	0.14 ± 0.02	0.07 ± 0.01
f	水平同期信号立ち下がり／立ち上 がり時間 (10~90%) (μs)	0.14 ± 0.02	0.07 ± 0.01
S _m	負極性パルス振幅 (mV)	300 ± 7.5	300 ± 7.5

注 Vは映像信号の振幅を示し、700 (mV) である。

2 走査線数が750本であって、走査方式が順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



(2) 水平同期信号のレベルの許容範囲

記号	項目	許容範囲
S_m	負極性パルス振幅 (mV)	300±6
S_p	正極性パルス振幅 (mV)	300±6

(3) 水平同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
a	負極性パルス開始点 (T)	40±3
b	映像信号終了点 (T)	110-0

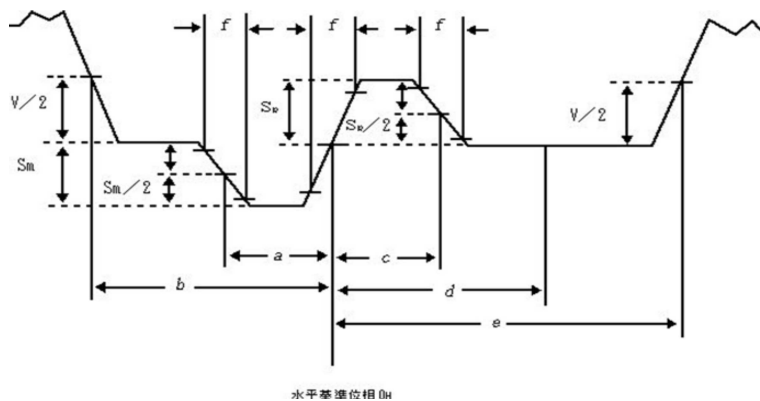
		+6
c	正極性パルス終了点 (T)	40+3
d	映像信号開始点 (T)	260-0
		+6
e	パルス立ち上がり時間/立ち下がり時間 (T)	4+1.5

注1 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2 Vは映像信号の振幅を示し、700 (mV) である。

3 走査線数が1125本であって、走査方式が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



(2) 水平同期信号のレベルの許容範囲

記号	項目	許容範囲
S _m	負極性パルス振幅 (mV)	300±6
S _p	正極性パルス振幅 (mV)	300±6

(3) 水平同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
a	負極性パルス開始点 (T)	44±3
b	映像信号終了点 (T)	88-0 +6
c	正極性パルス終了点 (T)	44±3
d	クランプ終了点 (T)	132±3
e	映像信号開始点 (T)	192-0 +6

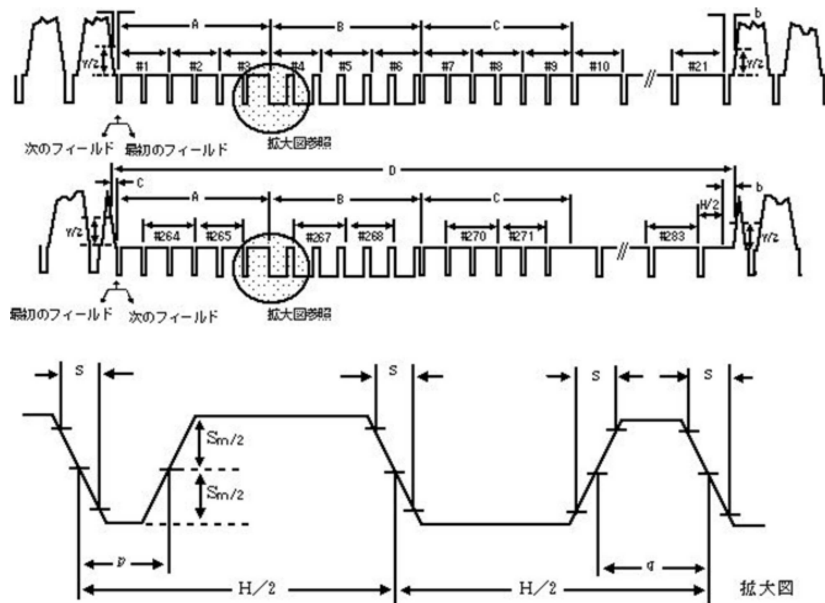
f	パルス立ち上がり時間／立ち下がり時間 (T)	4+1.5
---	------------------------	-------

注1 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2 Vは映像信号の振幅を示し、700 (mV) である。

4 走査線数が525本であって、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



(2) 垂直同期信号の許容範囲

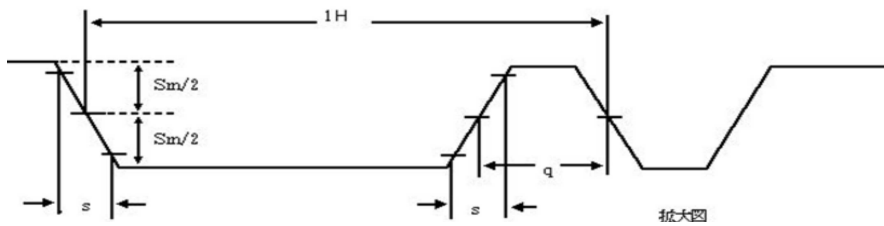
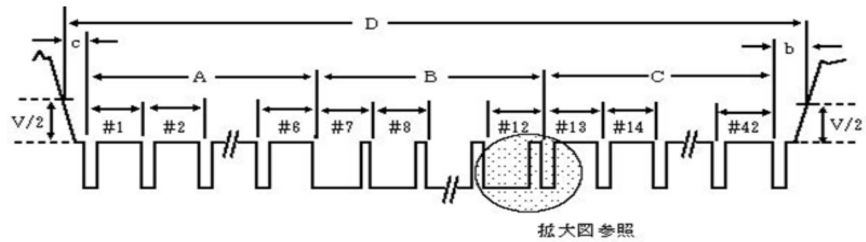
記号	項目	許容範囲
D	垂直ブランキング期間 (μs)	$21H + 10.7 + 0.30$ $- 0.20$
A	等化パルス期間 (H)	$3H + 0$
B	垂直同期パルス期間 (H)	$3H + 0$
C	等化パルス期間 (H)	$3H + 0$
s	垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間 (10-90%) (μs)	$0.14H + 0.02$
p	等化パルス幅 (μs)	$2.30H + 0.10$
q	垂直セレーションパルス幅 (μs)	$4.70H + 0.10$

注1 Hは1水平走査期間を示し、 $1001/15.75$ (μs) である。

2 a、b、c、 S_m 及びVは、1の(2)に示す値とする。

5 走査線数が525本であって、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



(2) 垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
D	垂直ブランキング期間 (μs)	$42H + 5.35 + 0.15$ -0.10
A	垂直ブランキング期間の開始点から 垂直同期パルスの開始点まで (H)	6 ± 0
B	垂直同期パルス期間 (H)	6 ± 0

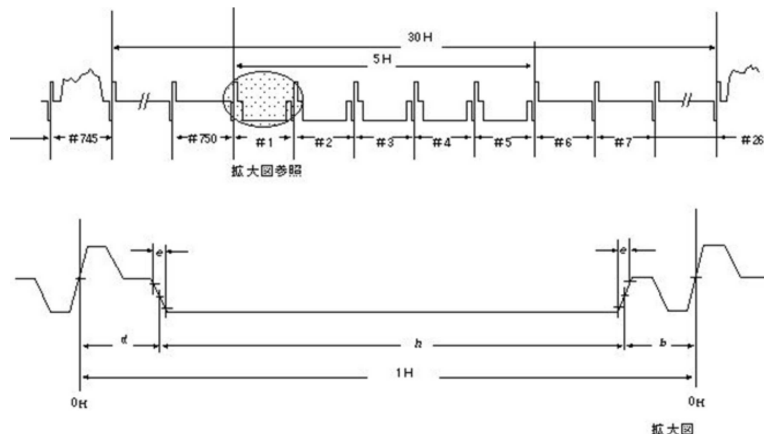
C	垂直同期パルスの終了点から 垂直ブランキング期間の終了点まで (H)	30±0
s	垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時 間 (10—90%) (μs)	0.07±0.01
q	垂直セレーションパルス幅 (μs)	2.35±0.05

注1 Hは1水平走査期間を示し、 $1001/31.5$ (μs) である。

2 a、b、c、 S_m 及びVは、1の(2)に示す値とする。

6 走査線数が750本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



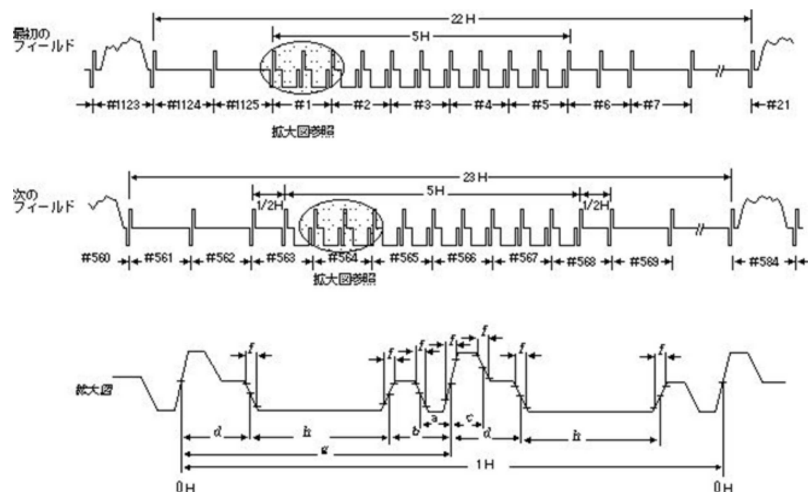
(2) 垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間 (T)	1650 ± 0
h	垂直同期パルス幅 (T)	1280 + 0 - 12

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

7 走査線数が1125本であって、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



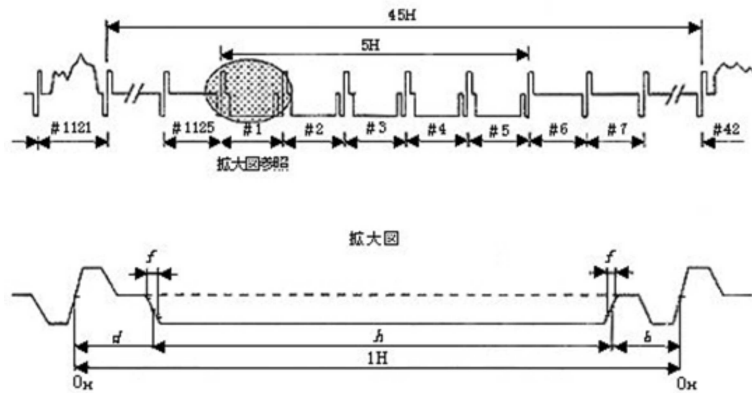
(2) 垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間 (T)	2200±0
g	1/2ライン期間 (T)	1100±0
h	垂直同期パルス幅 (T)	880±3

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

8 走査線数が1125本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



(2) 垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間 (T)	2200±0
h	垂直同期パルス幅 (T)	1980±0

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。